

相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニュースレター25号 2005.9.24発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 大館 学
編集長 近藤 真史

定例活動／6月25日(土)

「トンボ池周辺グレードアップ作戦 と焼け跡の整理」

大館 学

森くらぶの小屋の火災から約1ヶ月経過し、燃え残った残材の処理がくらぶにとって頭の痛い宿題となっていました。

残材の処理にあたり、小屋の本来の所有者である森山さんのご家族の了解をいただき、先月5月28日の定例活動日には、焼け跡整理の第一段階として残材を大きく鉄くずと木くずに分別しました。

このうち鉄くずの処理については、天白土木事務所の協力がいただけましたが、残る木くずの撤去を本日(6月25日)行うこととなりました。会員でもある浦田さん(産業廃棄物処理業を営営してみえる)のご協力をいただき、10名ほどの会員がのこぎりで荷台の長さ燃え残りの材木を切断し、軽トラック一台に満載の処理が無事完了しました。この木くずは窯で焼いて炭にするそうです。後は少量の不燃ごみが残るだけで、これは会員が手分けして少

しずつ処分することで意見が一致しました。ご協力の皆様ありがとうございました。



さて、跡片付けのため少々遅れて始まったトンボ池周辺グレードアップ、今年は異常少雨ということだが野の草たちはそんなことお構いなしに伸び放題、手鎌とエンジン草刈機2台がフル回転で午前1時間、午後1時間半程で池の周りと梅の木の辺りまできれいに刈り取られ、吹き抜ける風のさわやかさが心地よく感じられました。

ところで、今回園内の掲示板に貼ってあった定例活動の案内を見て瑞穂区にある陽明小学校の5・6年生、自称昆虫博士の山田君とその友人水谷君がこの辛い草刈作業に飛び入りで参加してくれました。聞けば、恵那市の方で「棚田の学校」に参加し草刈の経験も



▲草刈り作業が完了しサッパリしたトンボ池

あるとのこと。草刈をしながらそこにいるトンボや蝶のさなぎ、池にいるヤゴなどについて語るうちくは専門家はだして、昆虫博士を豪語する自信もさもありなん。我々も大いに勉強させられました。多様性のある森づくりに取り組む我々に強力な仲間が増えた気がします。



▲飛び入り参加の山田くん和水谷くん

小屋の火事とその後



▲火災現場の後片付けに追われるくらぶ員

4月下旬から5月下旬にかけ天白区、南区、緑区などで神社や倉庫などの放火とみられる不審火が立て続けに10数件あり、5月21日にはわがくらぶの道具小屋が火災にあってしまった。小屋

のほとんどが焼け落ちてしまい、中にしまっていたテント、什器、工具など道具全部と、ニュースレターなどくらぶ創設以来の資料の全てを失ってしまった。

一週間後の28日にくらぶ員が出て、火事跡の片付けを行い翌日天白消防署で「罹災証明」をもらうなど残務整理をしていたところ、31日になって新聞報道で容疑者逮捕を知る。早速警察に問い合わせたが、捜査内容は教えられないとのこと。しかし、数日たって天白警察から火事による被害届の提出を求められ、永田さんと調書作成に立ち

会った。何か自分たちが犯人になったような不思議な感覚で、聞き取りやサインが終わったあとぐったりとしてしまった。

被害金額は少なく見積もっても数十万円で、くらぶの活動に一部支障が出ることは避けられない。しかし、のこぎり1本で出来る作業もある。道具はまた徐々にそろえていけばいい。今回の事件で近隣の人達には大きな迷惑をかけてしまったが、今後の活動をとおり地域の信頼を取り戻し、小屋の再建を目指して頑張っていきたい。

(大館 学)

定例活動／7月24日(日) 「万博ささしまサテライトブース出展」

村田 英二

7月定例会は環境デーなごや2005中央行事への出展として、朝から夕方までの一日、名古屋駅南の「ささしまサテライト会場」でパネル展示と竹細工と炭の販売をしました。

参加者は森さん、跡見さん、大館さん、永田さん、真弓さん、伊藤さんご夫婦と私の合計8名。

出展ブースの壁にオアシスの森くらぶの活動をまとめたパネルを展示しましたが、今回のイベントは子供さんが中心のせい、注目度は低かったようです。

竹細工はすべて森さんがこの日のために用意したもので、クワガタ、カブトムシ、セミ、竹とんぼに竹笛です。

森さんの竹細工はなかなかの出来栄でクワガタ、カブトムシは子供たちに大人気。竹とんぼは子供よりお父さんのほうが嬉しそうでした。また炭も予め森さん自作の竹製の筒に入れてラップをしたものです。お化粧をすると中は同じものでも商品価値は随分が上がり



▲子どもたちに大人気だった竹細工の昆虫たち



▲出展ブースでの展示・販売のようす

がります。

売り上げは午前中から順調に売れ始め、午後からは客足が伸びたこともあって、用意した物品を完売することができました。

私自身いざ売り始めると店員になりきり1日があっという間に過ぎ、楽しい1日を過ごすことができました。

今後も同様の企画でくらぶをアピールする機会があればよいと思いました。

Topics 「まつり天白2005」に参加

大館 学

例年、秋に行われている天白区民まつりですが、今年は愛知万博に協賛して行われることとなり、6月12日(日)に天白公園を会場に開催されました。

オアシスの森くらぶも「天白・もりのフォーラム」の一員としてこの祭りに参加。

パネル展示やニュースレター、リー

フレットの配布など広報活動を行ったほか、ヒノキの間伐材を使った丸太切りや焼印体験コーナーで子どもたちと楽しい一日を過ごしました。

火災で火の入った間伐材はとても硬く、子どもたちはふーふー言いながらのこぎりを挽いていました。

▶懸命に丸太と格闘する子どもたち



シリーズ『森の住人たち』⑫

～モズ(百舌)～

秋を告げる鳥

モズ科

全長 20cm

環境 平地から山地の開けた環境



「キー、キー、キー、チキチキチキ」
静けさを破る高い声の方向を見ると、枯れ枝や電線にとまって尾羽をくるくる回すモズの姿が観察できる。「モズの高鳴き」といわれる縄張り宣言である。初秋の風物詩に「秋がくる」そう思うと、夏の暑さに堪えて弱りきった体に、力がみなぎってくる。和名のモズは、「百舌」と表記する。うそをつく人のことを「二枚舌を使う」というが、モズは百枚の舌があるという。つまりモズは鳴き真似上手。例をあげるならば、メジロ・ウグイス・コジュケイなど30種近い鳴き真似が記録されているというのであるから、驚異である。

なぜ他の鳥の鳴き真似を・・・、という疑問がわく。他の鳥を縄張りから追い出すためとも、他の鳥をおびき寄せて襲うため、

ともいわれている。

モズの生態については、疑問がもうひとつある。くちばしは太く、やや下に曲がったかぎ型で昆虫・カエル・カニなどには及ばず小鳥までも襲う。それらのものを捕まえながらも、食べずに樹木のトゲや、有刺鉄線などに突き刺す。これは、「モズのはやにえ」といわれる習性である。厳しい冬に備えるための保存食ともいわれる。しかし長い間野ざらしになりそのまま朽ちていくものもあるため、縄張りの目印という説、単に食べかけという説も見逃せない。

これからの季節、森を散策するとき気をつけて観察してみよう。きっと、「モズのはやにえ」を多数サンプリングすることができるだろう。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

定例活動／8月27日(土) 「森の探検 ～地質を訪ねて～」

阿部 龍雄

8月の定例活動は、午前10時から12時まで、集いの広場(参加者11名)で「名古屋の地形と地質」の話を村松憲一先生(瑞陵高校教諭)により聞きました。

名古屋の地質は、猪高部層(砂礫層と泥質層の互層300万年前)、八事層(砂礫層、シルト層及び砂層80万年前)、熱田層(砂礫層と御岳噴火の軽石15万年前)及び沖積層から成り立っていること、また名古屋の地形は太平洋側から押され養老山地(中古生層)の下に沈みこんでいて、東が高くなり西が低くなっているのだそうです。名古屋周辺は今から1,600万年前は古瀬戸内海

とよばれる浅い海で、日本列島は南北方向を向いていたそうです。さらに今から650~700万年前には東海湖(低地帯)が広がり、この時代に堆積した粘土分が瀬戸陶土層だそうです。名古屋は最近まであゆち瀉と呼ばれる湿地でしたが、海面の後退と埋め立てで現在の地形となったそうです。

相生山は八事層が表土で、一面に散乱する小石はチャートで80万年前に北方から河川で運ばれてきたものだそうです。地中深くは花崗岩(猿投山の山頂付近に見られる)でその上に猪高部層、八事層が堆積した地層となっていて、相生山の一部には猪高部層が見る



▲村松先生(中央奥)の話聞く参加者たち

事が出来るそうです。

今回の話では、遠い昔の話から足元の小石の話まで大変楽しく聞かせていただきました。是非次回は、実際に相生山の地層を見ながら話を聞きたいと思っています。私自身これから少しは足元にも気をつけて歩いてみようと思っています。

市民協働による気温測定調査に私たちも参加しました!

小池 敦夫

一昔前までは、森や海、川、田畑などがクールアイランドとなって冷風を運び、街は冷やされていました。ところが今や、熱帯夜の連続で街は暑熱化しています。そこで、もう一度、森や川を見直し、活かし、街づくりの中でみどりの役割を再認識してみようということで、名古屋気温測定調査実行委員会の主催により「名古屋の夏は暑いのか?みんなで気温を測るまい!」と題して、気温測定会が実施されました。

8月7日(日)、市内を2km毎にメッシュをかけ174地点で、午前5時から午後8時までの毎正時に気温と風向、風力の3つを測定しました。延べ250

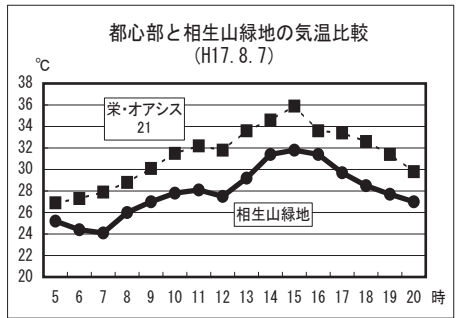
人を超える多くの方が同時に測定する"多点同時観測"は今まで他に例が無いそうです。

我が森くらぶからは、大館(測定地点:オアシスの森)、小池(同:梅が丘公園)、真弓(同:東山の森)、森(同:相生山団地)、中島(同:荒池緑地)の5人が参加しました。

結果は速報値でグラフのように、午後3時の時点で最大温度差が4.4℃ありました。これは地表温度でも体感温度でもなく空気の温度差であり、気温を4.4℃下げようとしたらどれだけクーラーの電力が要するのか。みどりの効果はすばらしいと実感しました。

これらの結果は報告書としてまとめられるとともに、10月の名古屋市主催のシンポジウムでの発表や、実行委員会による報告会も予定されてます。

みなさん結果分析を楽しみに。また、やるまいか!



相生山緑地オアシスの森

では、測定開始の午前5時、すでにカブトヤクワガタ狙いの親子づれが懐中電灯頼りに歩き回っています。この日の日の出は5時6分、測定地として選んだ稲田口近くの谷あい地はまだ暗く、懐中電灯で照らして視る10分の1度目盛りの温度計は指示値が見にくく、時間をかけて測定していると自分の体温の影響を受けてか温度が少しずつ上が

ってしまい苦労しました。

9時頃には、今年はずっとツクツク



▲気温測定用のフード

ボウシの鳴き声を聞きました。また、通りすがりの人達からは、「どのくらい森の中は涼しいんですか?」とか、「興味があるので、報告会に行きたい。」など関心の高さを実感しました。

さて、気温は朝が24度台で、徐々に上昇していたのですが、昼ごろに曇り空となり、結局最高気温は午後3時の31.8度でした。

(大館 学)

「西尾市環境まちづくり市民委員」オアシスの森視察レポート

真弓 浩二

西尾市は今年度の「環境基本計画」策定に先駆けて「環境まちづくり市民委員会」を立ち上げ、今後市民と行政のパートナーシップによってより良い環境の創造を目指していこうとしています。今回その市民委員の皆さんの視察先として、「市民と行政の協働による森づくり活動」の先進事例である我が「オアシスの森」が選ばれました。



▲概要説明を聞く西尾市のみなさん

6月26日(日)午後1時30分、相生口に到着した一行約20名を、森くらぶから6名の会員が迎えました。

まずオアシスの森のあらましと森くらぶの活動概要について説明し、その後約1時間の予定で森の散策を楽しんで頂きました。ツツジの園、集いの広場、見晴らしの丘、トンボ池、炭焼き広場、相生の竹林など主要な活動ポイ

ントでは、伊藤(晶)さんら会員の説明に、委員の皆さんは熱心に聞き入っていました。



▲ツツジの森を説明する伊藤さん

この日のオアシスの森は、ツツジの花が終わり、トンボ池の水も少なく、炭焼き広場は火事後・・・といった具合で、見所の少ない日ではありましたが、予定の時間をオーバーしても皆さんには精力的に森と活動の成果を視察していただきました。

「環境まちづくり市民委員」ということで、それぞれ関心事も異なり、限られた時間の中で十分な説明が出来たかどうか多少不安が残りましたが、後に届いた視察報告には、『市民グループの活動に共鳴した』『里山保全の大切さと難しさが分かった』『西尾市でも市民レベルでの里山保全活動を進めていくことが大切だ』等々、うれしい

感想も多く寄せられました。この日お相手をしていただいた会員の皆さん、どうも有難うございました。



▲トンボ池の視察の様子

会員募集中!

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

- 具体的な活動内容は
- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
 - ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
 - ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
 - ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
 - ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

- 会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。
- 振り込み先(郵便局)
オアシスの森くらぶ 00860-7-33725
連絡は事務局までどうぞ

定例活動スケジュール

集いの広場
10時集合

10月22日(土) 第7回どんぐり祭り(名古屋市協働)

秋の恒例「どんぐり祭り」!! 昨年に引き続き名古屋市と協働で行います。
いろいろと資材は焼失したけど、めげずに楽しくやりますので、みなさん是非遊びに来てください!

11月26日(土) 竹林管理

12月24日(土) 正月準備(門松づくり・梅の剪定)

2006年

1月28日(土) ツツジの園づくり植生管理

2月25日(土) アカマツ林再生プロジェクト

3月25日(土) 第8回萌木まつり

ホームページ管理・作成 スタッフ 大募集!!

“森くらぶのホームページをもっと楽しくしたい!” “定例活動には出られないけど、自宅でできることなら手伝えたい”等々、ホームページに興味のある方、是非ご一報を!!

【連絡先】

masashi_k@muf.biglobe.ne.jp (近藤)

情報センター

■参加申込みやお問合せなど

事務局
伊藤百寿人 052-895-8523
中島己治男 052-803-9534

■ホームページをご覧下さい

URL address : <http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html>

- ★ ニュースレター(本号)のカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。
- ★ 定例活動・特別活動の報告や予告(チラシ)を随時更新しています。